あぶたん つうしん

仙台南部流域治水出張所だより～♪

264 Go!

発行日 ： 令和8年2月26日

発　行 ： 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 仙台南部流域治水出張所
〒989-2441 岩沼市館下1丁目2番9号　☎0223-22-2801 FAX:0223-22-2802

阿武隈大堰はメンテナンスの季節です

昭和５７年（１９８２年）４月の完成以来、阿武隈川の安定した水の流れの確保と、かんがい用水、水道水、工業用水等の安定供給の役割を担っている阿武隈大堰。この巨大な阿武隈大堰をスムーズにそして安全に動かすために、毎月の点検やメンテナンスなど、たくさんの人の知恵や力が結集されています。

阿武隈大堰は完成から今年で４４年。これからもずっと阿武隈大堰が地域の安全安心を守り続けるために、毎年、雨の少ない冬の時期（１１月～３月）にメンテナンス工事を行っています。

水を堰き止めるための巨大な１０個のゲートのうち、今年度は、第２・第３ゲートの開度計及び第２・第７ゲートの機側操作盤を更新中です。

極寒の中で工事を行ってくださっている皆さま、いつも本当にありがとうございます。

阿武隈大堰機械設備修繕工事 施工中だっちゃ～

どんな工事？

今回の工事では、第2ゲート（開度計と機側操作盤）、第3ゲート（開度計）、及び、第7ゲート（機側操作盤）の機器を新しいものに入れ替えます。 交換する開度計は、経年劣化により不具合を起こしていました。操作盤も電子部品の不良が発生していました。これまで大堰の機能には大きく影響していませんでしたが、これらの不具合が機械関係の大きな故障につながる前に不良箇所を修繕して、大堰の機能維持をするための大事な工事です。

毎日作業開始前・作業終了後に大堰の操作室と打合せを行い、工事作業員の安全と大堰の堰機能を両立させるよう施工しています。



大きな交換部品！足場を組んで機械搬出入用の出入口を作ります。



特注の機側操作盤。工場での厳しい出荷検査を経て大堰へ納品されます。



開度計。これが狂うとゲートがどのくらい開いているのかわからず、流量の計算ができません。



請負会社の（株）IHIインフラシステムでは、今年も現場事務所のトイレを一般開放しています。

★トイレの場所：阿武隈大堰管理橋（亘理側）近く

★トイレの開放時間：平日９：００～１６：００
（３月中旬まで　土日祝日・休工日を除く）

寒い日もお散歩される方が多いこの近辺。
とってもありがたいですね♡

のぞいてみたっちゃ～
キレイで安心！



寒さはもうしばらく続きます…

油漏れ事故に注意しましょう

油漏れの回収・処理費用は、原因者の負担だっちゃ😱
油が流出した場合や発見した場合は、すぐに役場または消防署までご連絡ください。



仙台河川国道事務所
インスタグラム
阿武隈大堰紹介
ドローン動画あります！

洪水の時、樋門・樋管の水門操作で地域を洪水から守る仕事

水門等水位観測員について知ろう



仙台南部流域治水出張所管内には２箇所の水門（新浜・押分）と5箇所の樋門・樋管（深川・神明・三名生・五間堀・前田）があり、１３名の水門等水位観測員が任命されています。

水門等水位観測員の仕事は、水門や樋門・樋管を操作して流域の人々の命と財産を守ること。樋門・樋管の門扉は平常時は開いていて、宅地側の生活用水や雨水を阿武隈川に放出しています。しかし、大雨などで阿武隈川の水位が上がり宅地側への逆流が始まると、水門等水位観測員が門扉を閉め宅地側への浸水を防ぎます。

その後、阿武隈川の水位が平常時に戻るまで水門等水位観測員は樋門・樋管にとどまり、量水票による水位の観測を30分ごとに行い、大きな水位変化については出張所に報告します。はん濫の恐れがなくなったと出張所が判断したら、水門等水位観測員は門扉を全開に戻して帰宅します。

宅地側の水の行き場がなくなり浸水被害がおこる場合がありますが、排水機場運転や排水ポンプ車等で対応します。

大雨等ではん濫の恐れがある河川に向き合う命がけの仕事 ＝ 水門等水位観測員

1月27日（火）水門等水位観測員講習会を開催しました

近年、地球温暖化の影響で雨の降る日が少なく、降る時には一気に豪雨となっています。今まで大丈夫だったから今後も大丈夫ということはありません。

年に一度の講習会では、平常時に行われる樋門等の月点検（機器のチェックと動作確認）時の点検ポイントや樋門等の想定される故障内容、水位上昇時に観測員の皆さんがより安全に仕事ができるような行動規範や樋門等の操作方法についての講義を行い、最後にいざというときに迷いなく操作できるようにと、スマートフォンを使って樋門等操作情報共有システム入力の演習を行いました。





水位上昇対応中の操作員さんはやることいっぱい…

操作員さんがスマホでシステム入力を行うとどうなる？

正確な情報をリアルタイムに共有することで
情報共有の省力化・迅速化が図れるようになることを目指しています。

操作員 水位観測 状況把握



スマホ入力なし → 操作員 電話で報告 → 出張所 データとりまとめ → システムに入力

時間がかかる…
伝達ミスがあるかも…

スマホ入力あり → 操作員 スマホに入力

操作員の入力情報を瞬時にシステムに反映

正確な情報共有の省力化・迅速化

自然災害による被災を少しでも少なくできるよう最新の技術を取り入れながら改善を続けます。

どんな時も避難が大事！
講習会でも
『観測員さん自身が
身の危険を感じたら
ただちに退避』と指導
しているっちゃ！！

ぼくを
クリックすると
東日本大震災の
パネルデータが
見られるっちゃ



3.11 忘れない…

あれから15年。人は忘れる生き物と言われているけど、
忘れない、忘れられない、忘れたくない。
東日本大震災の記憶を未来に繋いで、未来の命を守ろう。